

平成 27 年 12 月 2 日  
沖縄電力株式会社

## 宮古発電所構内における重油漏洩に関する調査結果について

平成 27 年 7 月 27 日（月）に当社宮古発電所構内にある燃料清浄機室ドレンピット※<sup>1</sup>へ至る側溝側面の穴から重油漏洩が確認されました。（平成 27 年 7 月 31 日プレスリリース済）

その後、当社は燃料清浄機※<sup>2</sup>の使用を中止し、重油付着土壌の回収を進めるとともに、宮古発電所重油漏洩対策委員会を新たに発足し、更に学識経験者にも加わっていただき、事象の全容解明に努めてまいりました。

この度、調査結果がまとまりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 漏洩量の算定結果

燃料清浄機室ドレンピットの建設（昭和 51 年）から事象発覚（平成 27 年 7 月）までの運用状況、漏洩した排出水の含油等を勘察した結果、最大で 50.8 キロリットルと推定いたしました。

### 2. 拡散範囲

宮古発電所構内及び構外のボーリング調査を実施した結果、地下 18m 付近に薄く拡散しておりその範囲は発電所構内及び一部構外（北約 100m、東約 60m）へ及んでいるものの、この範囲にとどまっていることを確認いたしました。

### 3. 水質調査結果

宮古発電所付近の井戸（4 ヵ所）の水質調査では油分の混入がないことを確認しており、生活環境への影響はないと考えております。今後も定期的に水質調査を継続して実施いたします。

### 4. 土壌回収状況

現在、重油付着土壌の回収作業を進めており、燃料清浄機室基礎の下の土壌回収の為、燃料清浄機室建屋上部を 11 月に解体しました。今後、基礎部についても解体するとともに継続して土壌回収作業を進めてまいります。

### 5. 他発電所における類似設備の点検結果

宮古第二発電所、石垣第二発電所、および久米島発電所の類似ドレンピットについても点検を実施し、重油の漏洩がないことを確認しております。石垣発電所（休止中）については、平成 27 年 12 月に点検終了を予定しております。

## 6. 原因

燃料清浄機室内のコンクリート製ドレンピットの漏洩部Ⅰおよび漏洩部Ⅱ（別紙1）から漏洩していました。原因は、建設当時の施工不良および当社の工事管理不足によるものです。

## 7. 再発防止策

現在、設備構築時には当社社員および施工管理業者（第三者）によるチェック等の工事管理の強化を行っており、今後も確実に実施してまいります。

宮古島市の皆さま、ならびに関係機関の方々には、ご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社では引き続き、重油付着土壌の回収、付近井戸の水質調査などを継続して実施してまいります。

### 【用語の解説】

※1：燃料清浄機室ドレンピット；燃料清浄機から排出される油混じりのゴミ、水を一時溜める枥

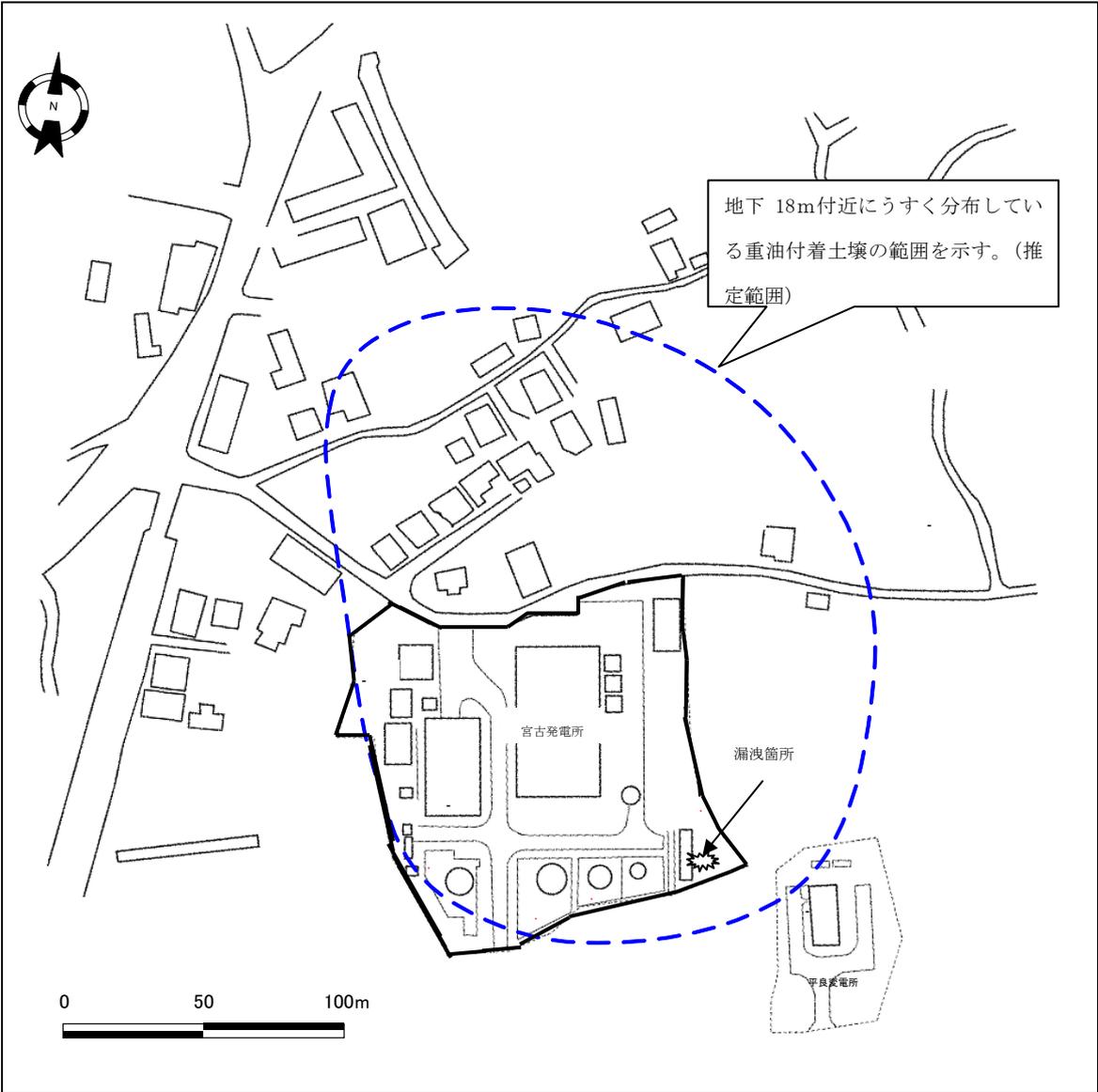
※2：燃料清浄機；C重油に含まれる水やゴミを取り除く装置

別紙1：宮古発電所燃料系統図

別紙2：重油拡散範囲（推定分布図）

以上





重油拡散範囲（推定分布図）